

緊急支援交付金の使い道は

質問

政府が2014年度補正予算に盛り込んだ個人消費を支援する地域消費喚起・生活支援型交付金と地方創生先行型交付金の使い道は。

企画部長

地域消費喚起・生活支援型交付金はプレミアム付商品券の発行を商工会へ依頼する。地方創生先行型交付金は地方版総合戦略の調査費や少子化対策の事業費に充当したい。

質問

プレミアム付商品券の予算

や内容、取扱店とか、発行の時期、使用期間、一人当たり幾らまで購入可能か。

経済建設部長

予算は7千万円。1万円購入で1万2千円相当の買物ができる。原則、市の事業所及び愛西市商工会の認める事業所で取扱い、6月中旬頃に発売予定。使用期間は6月中旬頃から10月末までを予定し、一人当たりの購入限度額は5万円を予定。

質問

国から今後5年間の地方版

総合戦略の策定を課されたが市はどう対応していくか。

企画部長

地方創生戦略推進会議を開き、少子化対策を含め市の特性を活かした総合戦略の策定を検討する。

質問

レンコン掘りや市で生産される野菜収穫など、農業に親しんでもらえるための体験型

今後5年間で愛西市は変わるか

質問

地方創生の理念に、隣接する市町村との連携による効果的かつ効果的な行政運営の確保を図ることが明記されているが、市はどう考えるか。

企画部長

近隣市町や海部地区全体で個別案件ごとに連携が可能なものから検討していきたい。

や海外の方などに宿泊してもらって滞在型のグリーンツーリズムを企画することは検討できないか。

企画部長

今後策定する地方版総合戦略で総合的に検討したい。

質問

少子化対策について結婚、出産、子育てが希望の持てる社会になる環境を整備することが明記されているが市の現状と今後の環境整備をどうするか。

企画部長

独身男女の約9割は結婚の願望があり希望子供数は2人以上である。一方、未婚率は



その他の質問

・認知症対策について

上昇し夫婦の子供数は減少傾向にあるなど、希望の持てる社会とはいえない現状である。市は優良企業の誘致をして、安心して働ける環境の整備をすすめていく。



高松幸雄 議員